大塚台の風

「笑顔いっぱい　夢いっぱい」　横須賀市立大塚台小学校　学校だより258 号
R7.4.23

「新しい学年になる」「新しい先生と出会う」「新しい教科と出会う」「新しいノートを使い始める」・・・。4月は「新しいこと」がたくさんあります。特に、1年生は新しいことばかりです。朝の支度、整列の仕方など、できるようになったことをいろいろ教えてくれます。自信をもってやれることも多くなってきました。1 年生だけではなく、新年度が始まって 2 週間、どの学年の子どもたちも、「新年度」をきっかけに新たな気持ちで前向きに様々な活動に取り組んでいる姿が多く見られます。

一方で、新しいことにトレスや不安を感じる子供もいます。4 月は緊張もあり頑張ってきたけれども、GW明けに不安な気持ちやストレスが身体的な症状となって現れたり、行動として表出されたりする場合も多くあります。学校でも注意深く子供を見ていきますが、ご家庭でも「いつもより元気がなく、表情が暗い」「学校に行きたがらない」「食欲がない」などのSOSのサインを感じたら、お子さんの話をていねいに聞いてあげるとともに学校へご一報ください。

●4月 14 日に学校説明会を実施し、学校教育目標について説明をしました。参加できない方もいらっしゃいましたので、改めてお伝えします。

1週間前の 4 月7日、満開の桜のもと新1年生を迎え、357名で令和7年度がスタートしました。さかのぼってみると、今年の6年生が入学した年はコロナ感染症が流行した年で、この年は入学式だけ行い、翌日から5月末まで臨時休業となってしまいました。そのことを思うと、子ども達が毎日元気に普通に学校に通うことができる状況にあることは、当たり前のことかもしれませんが大変うれしく感じています。しかし、地震や台風などの自然災害も含め、いつ、どこで、どのようなことが起こってしまうか分かりません。子供たちが安全・安心して学校生活を送ることができるよう、一つ一つの教育活動を行っていきたいと思っています。 どうぞよろしくお願いいたします。

さて、今日は、大塚台小学校の教育目標「笑顔いっぱい、夢いっぱい」についてお話しします。

「笑顔いっぱい」については、あなたの笑顔をたくさん見せてほしい、でも、それだけではなく友達の笑顔もたくさん見られるように言葉を使ったり行動したりしてほしいと考えています。心無い言葉で相手を気づつけてしまうこともあります。ふざけて行った行為も、友達にとってはとてもつらいことでいじめにつながることもあります。一方で、温かい一言ややさしく寄り添う行動が友達を元気づけることもあります。自分も笑顔になるだけではなく、友達も笑顔いっぱいになるためにはどのようにすればよいのかを常に子供たちに問い続け、自ら考えそれを行動に移したり言葉で表現したりできる子供を育てていきたいと思っています。

また、「夢いっぱい」については、夢をかなえるためには、粘り強く、あきらめず努力を続けることが大切と考えています。勉強でちょっと難しい問題に出会うと「むりー」とすぐにあきらめてしまったり、一回試してできないと「もういいや」といって投げ出してしまったりする姿を見ることがあります。自分に自信がない、失敗したくないなど様々な要因があるとは思うのですが、自ら課題を見つけ、それを友達と共同して解決していく学習プロセスを大切にしたり、自己肯定感を高める声掛けを続けたりすることを通して、「もう一回チャレンジしてみよう」「次は、このようにやったらできるかな」といった粘り強く取り組むことができる子供を育てていきたいと考えています。

今お話しした、友達を思いやる気持ちや粘り強さは、簡単に身につくものではありません。それこそ粘り強く取り組んでいくことが必要だと考えています。そして、何よりも学校とご家庭とが連携をしていくことが大切だと思っています。様々な面で保護者の皆様のご支援・ご協力をいただくことになるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。